

N-アッセイ ニットーボー
TIA C3-SH

N-アッセイ ニットーボー
TIA C4-SH

体外診断用医薬品

血清又は血漿中の補体蛋白 C3、C4 測定用試薬

- ▶▶ 通常の測定範囲ではプロゾーン現象が起こりません。
- ▶▶ 測定範囲 C3 0.3 ~ 600mg/dL
 C4 0.1 ~ 100mg/dL

N-アッセイ TIA C3-SH ニットーボー

【測定原理】

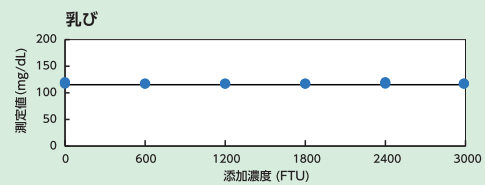
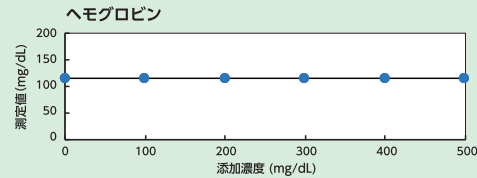
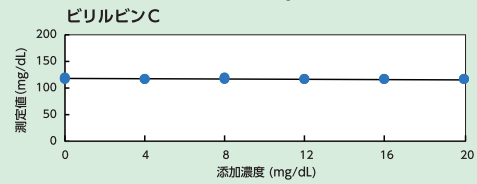
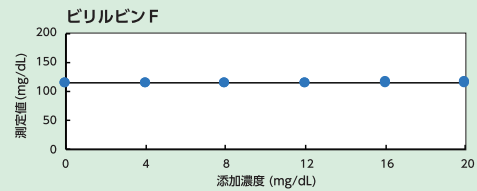
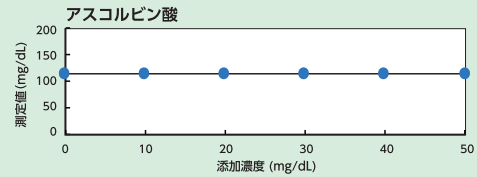
検体に抗ヒト補体蛋白C3 (C3) 血清を混合し、C3と抗体の凝集物を濁度として600nmの波長において測定し、検体中のC3を定量します。

〔日立7180形自動分析装置にて測定〕

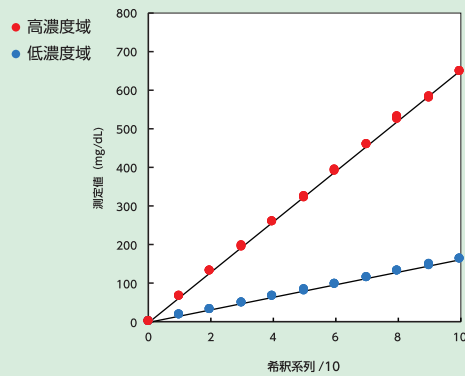
同時再現性

検体 I		検体 II	
データ数	20	データ数	20
平均値	112.6	平均値	219.1
最大値	114	最大値	221
最小値	112	最小値	218
範囲	2	範囲	3
標準偏差	0.65	標準偏差	1.10
変動係数	0.58 %	変動係数	0.50 %

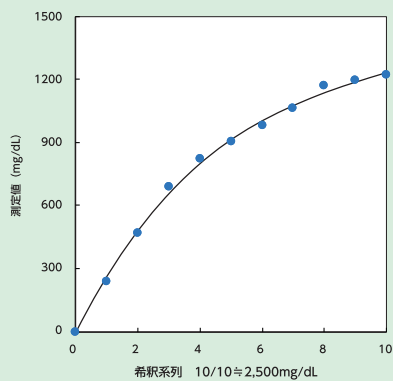
共存物質の影響



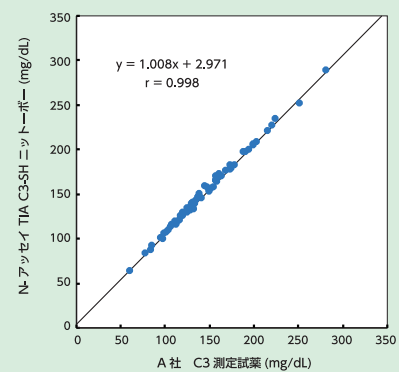
直線性



プロゾーンデータ



相関性



N-アッセイ TIA C4-SH ニットーポー

【測定原理】

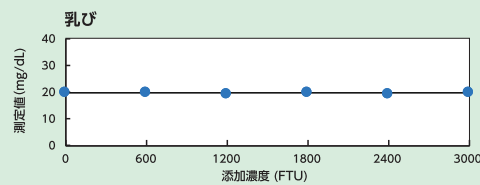
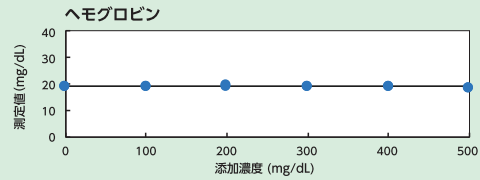
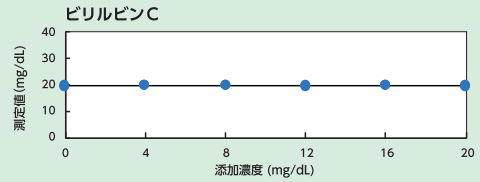
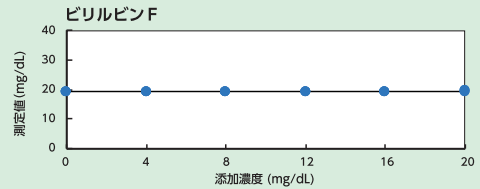
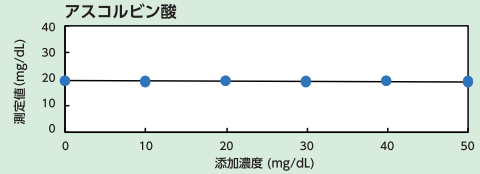
検体に抗ヒト補体蛋白C4 (C4) 血清を混合し、C4と抗体の凝集物を濁度として340nmおよび700nmの波長において測定し、検体中のC4を定量します。

『日立7180形自動分析装置にて測定』

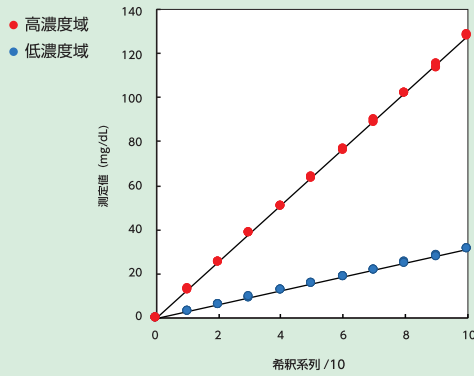
同時再現性

検体 I		検体 II	
データ数	20	データ数	20
平均値	20.70	平均値	42.98
最大値	21.0	最大値	43.5
最小値	20.5	最小値	42.5
範囲	0.5	範囲	1.0
標準偏差	0.13	標準偏差	0.27
変動係数	0.63%	変動係数	0.62%

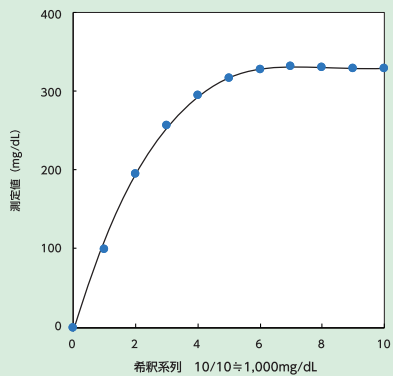
共存物質の影響



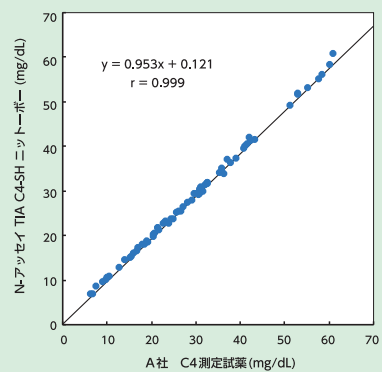
直線性



プロゾーンデータ



相関性



C3

C4

キット構成	R-1	緩衝液	トリス（ヒドロキシメチル） アミノメタン	緩衝液	トリス（ヒドロキシメチル） アミノメタン
	R-2	抗血清液	抗ヒト補体蛋白 C3 ヤギ血清	抗血清液	抗ヒト補体蛋白 C4 ヤギ血清
包装単位	R-1	20mL×4		20mL×4	
	R-2	5mL×4		5mL×4	
貯法	2～10℃で保存				
有効期間	製造後 1 年間				
保管に関する注意	最終使用期限は容器ラベル及び外箱に記載してあります。				

製造販売元： **ニッポーメディカル株式会社**

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地

問い合わせ先： ニッポーメディカル株式会社

TEL.03-4582-5420 FAX.03-3238-4590